

ハイデオ® サービスチップス



株式会社ゲン・コーポレーション ハイデオ事業カンパニー

〒501-1132 岐阜市折立 296-1 Tel(058)234-0666 Fax(058)234-1130

e-mail:hy-deo@ghen.co.jp http://www.ghen.co.jp

No. 93 補追版

平成 21 年 7 月 27 日

売れる卵をより多く生産するために

—マリア鶏の性能をひきだすための新指標—

マリア鶏の**新飼養管理指標**を、売れる卵をより多く生産するための飼養管理のポイントと合わせて発表いたします。

『コマーシャル鶏飼養管理ガイド ハイラインマリア（第3版）』の飼養管理指標は、育種元のハイライン・インターナショナル社（以下、ハイライン社）の最新情報（米国版 2009-2011）と比べると、栄養要求量、カルシウム要求量等が大きく変わってきています。そこでハイライン社からの最新情報を基に飼養管理指標を改訂することにしました。主な、改訂ポイントは以下の3点です。マリア鶏の性能をひきだすための指標としてお役立て下さい。詳細については、『コマーシャル鶏飼養管理ガイド ハイラインマリア（第4版）』をご覧ください。

1. 体重管理のポイント：

餌付けから 10 週令までは、指標より大きめに育て、以降 18 週令までは指標に沿うように揃いの良い鶏に育てる。(表 1-1)

成鶏舎に移動後 30 週令までは、毎週増体させる。30 週以降の増体は微増にする。(表 1-2)

2. 点灯プログラムのポイント：

育成期の点灯プログラムを 16 週令まで暫減点灯(ステップダウン)にする。(表 2)
育成前期の増体が良くなり、早期産卵を抑制し産卵初期の卵サイズ(個卵重)をより大きくすることに役立ちます。

3. 飼料・栄養のポイント

育成期： 餌付け用飼料を導入する。育成期の各飼料内容の見直し。大すう用飼料のカルシウム量を 1.40%に変更。飼料切換えの時期を体重指標で実施する。育成期間のビタミンおよび微量ミネラルの飼料添加量の見直し。(表 3-1)
(表 3-2)

成鶏期： 蛋白質および主要アミノ酸の最低要求量の見直し。(表 3-3)
ミネラル要求量の見直し、特にカルシウム要求量を大幅に改訂。(表 3-4)
成鶏期間のビタミンおよび微量ミネラルの飼料添加量の見直し。(表 3-5)

《マリア鶏の性能をひきだすための新指標》

(表 1-1) 育成期体重

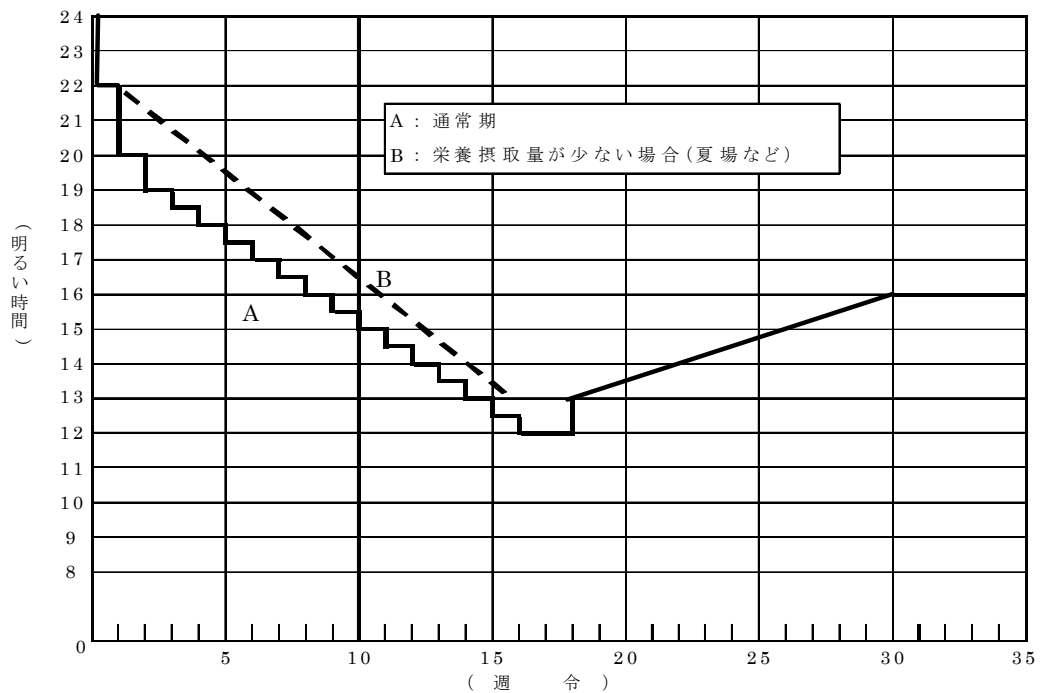
週令	平均体重(g)	週令	平均体重(g)	週令	平均体重(g)
1	65	7	530	13	1,060
2	115	8	630	14	1,120
3	190	9	730	15	1,180
4	270	10	830	16	1,220
5	350	11	920	17	1,260
6	440	12	990	18	1,290

(表 1-2) 成鶏期体重

週令	平均体重(g)	週令	平均体重(g)	週令	平均体重(g)
19	1,320	28	1,550	48	1,635
20	1,370	29	1,560	52	1,645
21	1,420	30	1,565	56	1,655
22	1,460	32	1,575	60	1,660
23	1,490	34	1,585	64	1,665
24	1,510	36	1,595	68	1,665
25	1,520	38	1,605	72	1,665
26	1,530	40	1,615	76	1,665
27	1,540	44	1,625	80	1,665

《マリア鶏の性能をひきだすための新指標》

(表 2) ウインドレス鶏舎の点灯プログラム例



《マリア鶏の性能をひきだすための新指標》

(表 3-1) 育成期の飼料

栄 養 素	餌付け用飼料	幼すう用飼料	中すう用飼料	大すう用飼料	プリレイヤー
	体重が 190g になるまで、または、3 週令まで	体重が 440g になるまで、または、6 週令まで	体重が 990g になるまで、または 12 週令まで	体重が 1,180g になるまで、または 15 週令まで	産卵開始まで
粗蛋白質 (最低) (%)	20.0	19.0	18.0	17.0	17.0
代謝エネルギー (kcal/kg)	2,875~2,985	2,875~2,985	2,875~2,985	2,875~3,030	2,810~2,855
リノール酸 (最低) (%)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
(主要アミノ酸:最低量)					
アルギニン (%)	1.21	1.13	1.01	0.87	0.90
リジン (%)	1.15	1.07	0.96	0.83	0.85
メチオニン (%)	0.51	0.47	0.44	0.38	0.41
メチオン+システイン (%)	0.83	0.83	0.75	0.67	0.74
トリプトファン (%)	0.21	0.21	0.20	0.18	0.20
スレオニン (%)	0.82	0.77	0.70	0.62	0.64
イソロイシン (%)	0.79	0.76	0.70	0.61	0.67
バリン (%)	0.83	0.80	0.76	0.67	0.73
(主要ミネラル:最低量)					
カルシウム (%)	1.00	1.00	1.00	1.40	2.50
有効リン (%)	0.50	0.49	0.47	0.45	0.48
ナトリウム (%)	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18
塩素 (%)	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18

注) 上記の給餌期間は、前ページの体重指標を基に記載しました。飼料の切り換えは体重指標で実施する。プリレイヤー飼料は、産卵開始後には、直ちに産卵ピーク期用に切り換える。

(表 3-2) 育成期間のビタミンおよびミネラルの飼料添加量

栄養素	育成期間	栄養素	育成期間
(ビタミン)		(微量ミネラル)	
ビ タ ミ ン A	9,900,000 IU/トン	マ ン ガ ン	88 g/トン
ビ タ ミ ン D ₃	3,300,000 IU/トン	亜 鉛	88 g/トン
ビ タ ミ ン E	22,100 IU/トン	鉄	55 g/トン
ビ タ ミ ン K ₃	3.3 g/トン	銅	11.0 g/トン
チ ア ミ ン (B ₁)	2.2 g/トン	ヨ ウ 素	1.7 g/トン
リ ボ フ ラ ビ ン (B ₂)	6.6 g/トン	セ レ ン	0.3 g/トン
ピ リ ド キ シ ン (B ₆)	4.4 g/トン		
パ ン ト テ ン 酸	11.0 g/トン		
ナ イ ア シ ン	33.0 g/トン		
コ リ ン	110 g/トン		
葉 酸	0.9 g/トン		
ビ タ ミ ン B ₁₂	22.1 mg/トン		
ビ オ チ ン	55 mg/トン		

(注) 飼料原料中に含まれる量以外にビタミン・ミネラル・プレミックスとして飼料に添加すべき必要量である。

《マリア鶏の性能をひきだすための新指標》

(表 3-3) 成鶏期の飼料 蛋白質および主要アミノ酸の最低要求量 (g/羽/日)

栄養素	産卵期間	産卵ピーク期 (産卵開始～32 週令)	産卵前期 (33～44 週令)	産卵中期 (45～58 週令)	産卵後期 (59 週令以降)
代謝エネルギー(kcal/kg)		2,760～2,870	2,760～2,860	2,740～2,840	2,720～2,760
リノール酸		1.00g	1.00g	1.00g	1.00g
粗蛋白質※		16.00g	15.50g	15.25g	15.00g
メチオニン		424mg	395mg	374mg	359mg
メチオニン+シスチン		763mg	711mg	673mg	643mg
リジン		881mg	821mg	777mg	761mg
スレオニン		663mg	618mg	585mg	572mg
トリプトファン		202mg	188mg	178mg	174mg
アルギニン		926mg	863mg	817mg	800mg
イソロイシン		684mg	637mg	603mg	590mg
バリン		799mg	744mg	705mg	690mg
コリン		100mg	100mg	100mg	100mg

注) ここに示した量は1日1羽当りの摂取必要量であって、その時の飼料摂取量によって飼料中に配合されるべき(%)は異なる。

(表 3-4) 成鶏期の飼料 ミネラル要求量 (g/羽/日)

栄養素	産卵期間	産卵ピーク期 (産卵開始～32 週令)	産卵前期 (33～44 週令)	産卵中期 (45～58 週令)	産卵後期 (59 週令以降)
カルシウム		4.00 g	4.20 g	4.35 g	4.50 g
有効リン		0.50 g	0.48 g	0.46 g	0.40 g
ナトリウム		0.18 g	0.18 g	0.18 g	0.18 g
塩素		0.18 g	0.18 g	0.18 g	0.18 g

注) ここに示した量は1日1羽当りの摂取必要量であって、その時の飼料摂取量によって飼料中に配合されるべき(%)は異なる。

注) 添加する炭酸カルシウム(ライムストーン)の約65%は、2~4mmの粒度であること。

(表 3-5) 成鶏期間のビタミンおよびミネラルの飼料添加量

栄養素 (ビタミン)	産卵全期間 (19 週以降)	栄養素 (微量ミネラル)	産卵全期間 (19 週以降)
ビタミン A	8,800,000 IU/トン	マンガン	88 g/トン
ビタミン D ₃	3,300,000 IU/トン	亜鉛	88 g/トン
ビタミン E	16,500 IU/トン	鉄	55 g/トン
ビタミン K ₃	2.2 g/トン	銅	5.5 g/トン
チアミン (B ₁)	1.7 g/トン	ヨウ素	1.7 g/トン
リボフラビン (B ₂)	5.5 g/トン	セレン	0.3 g/トン
ピリドキシン (B ₆)	3.3 g/トン		
パントテン酸	6.6 g/トン		
ナイアシン	28 g/トン		
コリン	110 g/トン		
葉酸	0.60 g/トン		
ビタミン B ₁₂	22.1 mg/トン		
ビオチン	55 mg/トン		

(注) これらの数値は1日1羽当り飼料摂取量が100gの時の、飼料原料中に含まれる量以外にプレミックスとして飼料に通常添加すべきビタミン・ミネラルの必要量である。したがって、鶏の採食量が例えば1日1羽当り90gになった場合には、ここに示す量の10%増とし、110gの場合には10%減とする。ただし、鶏になんらかのストレスが加わった場合にはこれより多く添加する必要がある。
なお、ビオチンについては、トウモロコシを主体とした配合飼料の場合は、プレミックスに添加する必要はない。

※ ご不明の点あるいはお気づきの点がございましたら、弊社ハイデオ事業カンパニー技術情報部までお問い合わせ下さい。